

各種新聞圖解の内
東京日々新聞
第四百九拾八号

千東の里に 出稼乃 煙花に沈む
 苦中にも 樂しむ 情郎ハ其と
 〆士族なる 我儘ぬ 別ハ 鶴鐘を托
 つ 往昔引く へて 解放みなり 籠
 此鳥比翼の 翅うち 重以連理乃
 手手組携 浅草邊 不至らん
 情夫の 脱たる 洋服を 戲み着て 男
 小装ち 遊歩を せし 折しも 官吏ハ
 會て 咎を せらば 傍乃 茶亭 小立寄て
 用意 小持 せし 弁慶乃 小袖を 出
 て 着換 せし 千人切の 牛若ハ
 女姿 小優 ならん 大きく 重き 違
 式と 知ら ず 犯す 鄙賤 娼妓
 罪何 なる 事 不辨 八 憫む べし 又
 笑ふ べし

樽々堂鈍々記



画工 齋藤
 作者 樽々堂
 版元 佐井屋

